

所属	人間社会学部／地域社会コース	職名	准教授	氏名	佐野 麻由子
----	----------------	----	-----	----	--------

1. 教員紹介・主な研究分野

2006年3月立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了。博士（社会学）の学位を取得。お茶の水女子大学非常勤講師、フェリス女学院大学非常勤講師、立教大学社会学部助教等を経て2012年10月に本学着任。

主な研究分野は、社会学の中でもジェンダー、社会運動（変動）。「社会的課題を解決するための意図的な社会変革はどのような条件下で可能か」という関心のもと、(1) ネパールをフィールドに社会的達成における男女の非対称性を生み出す社会構造、その維持/変革につながる要因の社会学的分析、(2) 左研究の知見の開発援助政策への応用および還元に取り組んでいます。

博士前期課程在籍中の2000～2001年に立教大学派遣交換留学生としてネパール国立パドマ・カンニャ・キャンパス・ウイメンズ・スタディ・コースに在籍。また、2003～2005年の期間に日本学術振興会特別研究員奨励費でネパールでのフィールドワークを実施するなど、長年ネパール社会に関わってきました。現在は、ネパールにおける「失われた女性たち（男児選好による女児の中絶、少女売買、女児の育児放棄）」の促進要因を解明することに取り組んでいます。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書（分担執筆）>

佐野麻由子，2020，「統合が進まない政府与党，国境をめぐるインドとの軋轢」『2020年アジア動向年報』、IDE-JETROアジア経済研究所、498-520.

佐野麻由子，2019，「議席の3分の2に迫る第2次オリ政権の発足」『2019年アジア動向年報』、IDE-JETROアジア経済研究所、518-540.

佐野麻由子，2018，「ネパール：左派連合の代表議会選挙勝利により政権安定化が図れるか」『2018年アジア動向年報』、IDE-JETROアジア経済研究所、515-538.

佐野麻由子，2018，「それでも息子が欲しい」？—ネパールにみる過渡期的発展と男児選好の未来」山田真茂留 編著『グローバル現代社会論』、文眞堂、137-153.

②過去の主要業績

<著書（分担執筆）>

佐藤寛・浜本篤史・佐野麻由子・滝村卓司，2015，『開発社会学を学ぶための60冊：援助と発展を根本から考えよう』明石書店.

佐野麻由子，2015，「途上社会の貧困，開発，公正」宮島喬・佐藤成基・小ヶ谷千穂編『国際社会学』有斐閣，148-165.

佐野麻由子，2012，「開発・発展におけるジェンダーと公正—潜在能力アプローチから」宮島喬・杉原名穂子・本田量久編『公正な社会とは—教育、ジェンダー、エスニシティの視点から』人文書院，240-258.

3. 外部研究資金

科学研究費補助金・基盤研究（C）研究課題名「過渡期的発展段階における男児選好の構造的要因についての研究」（課題番号20K12463）（令和2～4年度）（研究代表者）

科学研究費補助金・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) 研究課題名「アジアにとっての近代化の意味～開発と近代化を巡る世界観の異相を解き明かす」（課題番号19KK0049）（令和1～4年度）（研究分担者）

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会学会、関東社会学会、国際開発学会、国際ジェンダー学会

6. 担当授業科目

社会学概論・2単位・1年・後期、国際社会学A・2単位・2年・前期、国際社会学B・2単位・2年・後期、国際協力論・2単位・1年・後期、NPO論・2単位・3年生・前期、公共社会学研究ⅠⅡ・2単位・3年・前後期、卒業論文・6単位・4年・通年。

7. 社会貢献活動

田川市協働事業提案制度審査会委員長（2020年）

田川市産業振興会議・実務者責任者会議専門部会員（2020年）

田川郡添田町総合計画策定審議会委員長（2020年）

田川郡添田町総合戦略検証委員会委員（2020年）

日本貿易振興機構アジア経済研究所「アジア諸国の動向分析」研究会委員（2020年）

草の根技術協力事業（新・草の根協力支援型）に係る外部有識者（2020年）

8. 学外講義・講演

なし

9. 附属研究所の活動等

なし